# お知らせ

### 1月26日休~27日金

2017ふゆトピア・フェアin函館

※詳細は30ページをご覧ください。

#### 1月21日出

П

П

П

П

П

П

П

П

### 北海道価値創造パートナーシップ会議

北海道価値創造パートナーシップ幹事会(事務局:国土交通省北海道局、北海道開発局)は、北海道総合開発計画を踏まえ、北海道の価値創造力を高めるため、全道の地域づくり人材によるプラットフォーム「北海道価値創造パートナーシップ」を形成し、次のとおりキックオフイベントを開催します。

- ●場 所 札幌パークホテル
- ●時 間 10:15~18:00

【プログラム】

活動宣言 10:15~10:35

佐藤 太紀 氏(㈱)エフェムもえる 代表取締役社長) クリーン・スザンネ 氏(国立大学法人北海道大学現代 日本学プログラム准教授)

講演会 10:35~11:25

ロス・フィンドレー 氏(㈱NAC 代表取締役)

実践交流会 11:25~12:40

NPO法人美しい村・鶴居村観光協会、NPO法人森のこだまなど約25団体との交流

ワールドカフェ 13:30~18:00

ファシリテーター

丸山 宏昌 氏(札幌大谷大学助教)

\*参加を希望される方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ/北海道開発局開発計画課

TEL 011-709-2311 (内線: 5464)

## 国営滝野すずらん丘陵公園

## 1月3日(火)

## 滝野の森で日の出を見よう!

森の交流館から初日の出を見ます。その後、早朝の森の中をスノーシューで散策します。

- ●参加費 200円(駐車料金は別途)
- ●定 員 20名
- ●時 間 7:00~9:00
- ●場 所 森の交流館

※申し込み: 滝野管理センター (011-594-2222)

## 1月8日(日)・22日(日)

#### 冒険遊び場 きのたんの森

尻滑りやかまくら作りなど、雪を使って自由に遊べる遊び場を開催します。

- ●参加費 無料(駐車料金は別途)
- ●場 所 森の交流館(当日直接現地へ)
- ●時 間 12:30~14:30

## 1月7日出・14日出・21日出・28日出

#### はじめての歩くスキー

歩くスキー初心者の方を対象とした講習会です。

- ●参加費 200円/名(駐車料金は別途)
- ●定 員 20名/回(小学生以上)
- ●受 付 ロッジゆきざさ
- ●時 間 10:00~12:00

※申し込み: 滝野管理センター (011-594-2222)

## 1月11日(水)・15日(日)・18日(水)・22日(日)

#### はじめてのスノーシュー

スノーシューの履き方、歩き方などの初心者講習会です。

- ●参加費 200円/名(駐車料金は別途)
- ●定 員 15名/回(4歳以上)
- ●受 付 森の交流館
- ●時 間 10:30~12:00

※申し込み: 滝野管理センター (011-594-2222)

※詳細は当公園ホームページ (URL:http://www.takinopark.com/) をご覧いただくか、滝野公園案内所 (011-592-3333) までお問い合わせください。

# 研究所だより

新年明けましておめでとうございます。インバ ウンド情報共有サイトの開設2周年記念フォーラ ムを11月22日、当協会ホールで開催。緊張感ある テーマ選びと、時宜を得たスピーカーのキャス ティングが評価され、満員に札止めの盛況のうち に終了。昨今のインバウンド観光がもつ「熱」や 「勢い」という追い風もあったでしょうか。具体 的事例と現実の対応策が無駄なく提言され、小気 味よい進行で聴衆満足度がアップしました。多種 多様な事業者、行政の各機関、研究機関や若い学 生さんまで、全道から参集された様子をみるにつ け、近年のインバウンド観光が道民総がかりで取 り組む、一大プロジェクトに成長している感を強 くします。これは、ほかの課題解決にも応用した い北海道には珍しい「横断的プラットホーム」誕 生のような様相です。(草苅)

●「開発こうほう」へご意見・ご感想をお寄せください。
(一財) 北海道開発協会広報研修出版部

**∓**001−0011

札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル

電話 011 (709) 5212

● 「開発こうほう」は、北海道開発協会のホームページでも ご覧になれます。 ● (一財) 北海道開発協会では、賛助会員を募集しています。 詳しくは、ホームページをご覧ください。

開発こうほう 第642号 平成28年12月26日発行

発行 (一財)北海道開発協会

印刷 (株)須田製版 不許複製

http://www.hkk.or.jp/

本誌は再生紙を使用しております。